

令和6年度 第2回 藤沢市地域福祉計画推進委員会 議事要旨

日 時 2024年(令和6年)10月22日(火)

午前9時30分から

場 所 藤沢市役所 本庁舎5階 5-1・2会議室

I. 開催概要

1. 日 時 2024年(令和6年)10月22日(火) 9時30分～

2. 会 場 藤沢市役所 本庁舎5階 5-1・2会議室

3. 出席者

(1) 委員＝21名

・会場出席者

石渡 和実、松永 文和、奥田 吉昭、杉山 雅子、戸高 洋充、
木村 依子、小山 八千代、吉田 厚治、山口 燿子、橋本 良子、
椎野 幸一、澁谷 晴子、村上 尚、板原 直枝、佐藤 眞知子、
津島 徹、松沢 邦芳、沼田 純子

・オンライン出席者

濱田 登美、川辺 克郎

・欠席者

浅野 朝子

4. 議 題

1. 開 会

(1) 今年度の委員会のスケジュール・進め方について

【資料1】今年度の計画委員会の流れについて

(2) 藤沢市地域福祉計画2026＜中間見直し＞の推進状況について

①地域福祉の取組に関する意見交換

【資料2】意見交換の議題について

【資料3】計画体系図別の取組整理

【資料4】情報交換シートまとめ

(3) 地域福祉計画に関する普及・啓発について

【資料5】普及・啓発事業について

2. その他

(1) 重層的支援体制整備事業の進捗報告について

【資料6】【2024年4月改定】重層的支援体制整備事業実施計画

【資料7】重層的支援体制整備事業実施計画 モニタリング結果（まとめ）

【資料8】重層的支援体制整備事業実施計画モニタリングシート

5. 閉 会

II. 会議の概要（議事要旨）

1. 開 会

事務局より挨拶の後、議事に入った。

2. 議 題

(1) 今年度の委員会のスケジュール・進め方について

《資料1に基づいて事務局より説明》

《質疑なし》

(2) 藤沢市地域福祉計画2026＜中間見直し＞の推進状況について

①地域福祉の取組に関する意見交換

《資料2～4に基づいて事務局より説明》

○石渡石渡委員長

皆様からいただいた意見の中で取組が少ない箇所等についてご意見をいただければと思います。更生支援について計画にも記載があるが原状について伺えればと思うがいかがでしょうか。

○吉田委員

基本目標③に更生支援に関することが記載されており、計画に基づいて活動をしている。面会を行っている。今年度から社会を明るくする運動について、講演会等を開催し、周知を行った。一方で面接場所について、課題を感じており、地域との連携もしていきたいと思います。

○木村委員

吉田委員の連携の課題について、市民センターのどの部署と連携をとって部屋を借りるなどを考えているのか。

○吉田委員

13地区の市民センター・公民館の会議室を面接会場として借りている。ただ、土日等が使用できない等、制限があります。なので、今後少しずつ使用できるようになると良いなと思います。

○椎野委員

ここで意見交換をするということは、どのような議論をするべきなのか教えてほしいです。

○事務局

個別の取組から進捗確認を行うことが重要だとは思いますが。ここでは、委員の取組を体系図毎に可視化した資料に基づいて、不足している部分についてアイデアや課題等について意見交換をしていただければと思います。

○石渡委員長

事務局と相談し、体系図の取組が少ない箇所について、まず意見を伺えればと話を進めています。進捗管理について意見があればいただければと思います。

○椎野委員

自主防災分野で取組をしているが、その進捗管理を市としてもできているか不透明に感じる。自主防災分野は5本の柱に行い、取組を市に報告をしている。地域福祉計画の中で、防災に限らず、他の分野等の取組が把握しきれていない。そのために、計画の進捗管理ができていないと思います。

○石渡委員長

課題を感じている委員について発言をもらえればと思います。

○奥田委員

取組の進捗状況について、委員から出た意見について市としてどう利用するのか伺えればと思

います。

○事務局

今回のシートについては、取組の多いところ、少ないところがあると思います。計画上の視点として、取組が多くあるところについては計画として進んでいると思います。取組が少ない箇所については計画が進められていないと判断されると思う。なので、ここで体系図に取組を明記した資料を基に議論ができればと思います。

また、今回出た取組についてはシンポジウム等で周知したいと考えております。

○椎野委員

福祉計画は理念計画であることは理解している。運営委員会の委員達が現場で活動していることをまとめているが、冊子をより良くし、地域住民に理解してもらうためにどのようにすべきか委員会で議論をすべきだと思う。

○松永委員

今回のアンケートをする前に、福祉関係団体へのヒアリングを過去に実施している。今回委員の皆様が属している団体にもヒアリングを実施している。なので、今回のアンケートの意義があまり見えなかった。ただ、実施したことで活動の可視化はできたと思う。

ただ、意見を出してもらった事項をどう生かすのか、事務局として明確に伝えるべきだと思います。地域福祉計画委員会は何を取り上げてまとめていくかをやはり示していかないと、議論がしづらいと思います。

○澁谷委員

居場所が地域には複数あり、地区社会福祉協議会はテーマ別交流会を実施しており、「孤独・孤立」をテーマに意見交換を行いました。孤独・孤立を望んでいる人もいるという意見が出ていたり、地域として何ができるかを考える会になりました。いざという時、話せる人がいることが大事という意見になりました。それが地域ならではの思いでした。

担い手不足については、地域福祉計画に基づき活動をしているが、課題として抱えている団体ばかりだと思います。活動している人も高齢化が進み、今まで通りの地域活動ができないという前提を持ってないといけないと思います。現状通りでは地域も苦しいだけになると思うので、これから地域づくりどうするのかを考えていく必要があると思います。なので、地域団体の継続が

難しいのであれば、今後どうするのかをしっかりと議論していかないといけないと思います。今度の地域像を考えていく機会を設けることも必要だと思います。

○村上委員

市と市社協がどのように進めていくのかはしっかりと明確化していかないとだと思います。市の計画は基盤整備であり、社協は中間支援をしていくことだと思います。進捗管理する上で、委員の皆様が個々に地域活動をしている上での課題をこの会議で出し、共有し、議論していくべきだと思います。

○橋本委員

つばみの会の事務局をしています。別紙1を確認ください。今回の委員会に参加したことで、自分達の活動が地域福祉計画にどのように関わるか考える機会になりました。家族会が必要と思い、自主運営を行い今年が10年目になります。当事者も家族も明るい未来になると良いなと思い活動しており、3つの柱を基に行っています。分かち合いや、勉強会等といった活動をしています。地域の人に理解してもらわないと始まらないと思ったが、担い手不足が課題と挙がっているが、引きこもりの人が担い手として社会参加を行っている地域もあるのを思い出しました。それぞれの得意なことで地域連携につながると良いなと思います。少しずつ、地域に出ていけるような環境が作れると良いなと思います。

○板原委員

担い手不足については、民生委員の立場からもとても感じている。自分の地区の中で外国人の小学生を市民の家で話してみようという機会を設けてみる検討をしています。今後、地域の中でゆるいつながりが大事だと思います。

また、防災の話がありましたが、いざという時のための団体間の連携が密にできるように市・市社協等がまとめていってもらえればと思います。

○木村委員

子育て支援を20年近くしているが、子育てをする親の形が変わってきており、両親共働きが多く、親が地域で学ぼうという形がない。公民館で保育講座を行うが受講生が減少していることから講座が無くなりました。市民は学ぶ場がなくなっていると思います。地域で子どもを見守る側が責任を負いたくないからと見守る側を行う人が中々いないと思います。

○石渡委員長

現実を踏まえて、地域がどう動き、行政がどう示していくかが大事になるかと思います。これからの地域福祉計画に今回の意見シートをどう生かしていくか今後検討をしていくことも必要なのではないかと今回の意見交換で思いました。

(3) 地域福祉計画に関する普及・啓発について

《事務局より説明》

《質疑なし》

3. その他

(1) 重層的支援体制整備事業の進捗報告について

《事務局より説明》

《質疑なし》

4. 閉会

事務局より次回の日時等をアナウンスをし、閉会。

以上